

ご挨拶

日増しに緑の色が濃くなってまいりました。皆様お健やかにご活躍のことと拝察申し上げます。

恒例の作品展「生命の灯ふたたび」のご案内をお送り申し上げます。

今回の出品者は約 80 人、作品約 150 点を予定しております。いずれも脳卒中などのため、右半身麻痺や言語障害、高次脳機能障害など重い障害を負われた方々の生き甲斐づくりや機能訓練のために長年取り組んできた書や絵の作品で、各々、簡単な図や文字の模写や色彩の認知も難しかった初期から現在の作品に至る経過を添えて展示いたします。

作品づくりは、約 30 年前から、松戸市立病院や国立国府台病院の言語訓練室で取り組み始めたものですが、医療法改訂でリハビリ期間が大幅に制限されたのを機に、松戸市福祉会館に自主グループ若葉の会を開設し、慢性期の障害者の方々の仲間づくりや書画制作、リハビリの場として、多くの方々をお迎えしております。発病後数年を経ても文字も言葉も無く、失意・孤立の中にあつた重い障害者の方々が、ご家族とともに集い、素晴らしい作品を創り、機能や意欲を回復されて来ました。脳の回復の可能性の見事さと、長い支援の有用性をご理解頂ければと願っております。

癌末期の体力を振り絞って最後まで仲間との集いや制作に生命の灯を輝かせた方々、その他多くの「千の風」になった方々の遺作も一室に展示いたします。

ご多用のことと存じますが、ご高覧やご紹介頂ければ大変幸せに存じます。